

平成30年8月23日

第8号 (仮称) 厚田小中学校 設立準備委員会だより

発行 事務局 (石狩市教育委員会総務企画課)

このたよりでは、厚田区の統合新設校(義務教育学校)の2020年度の開校に向けて、設立準備委員会で検討している内容や教育委員会、学校、PTAなどの動きをお伝えしています。

今号では、7月17日に開催した第9回会議の内容をお知らせします。

校名案は「厚田学園」に決定

統合新設校の校名は、厚田区内に在住している方を対象に6月18日から7月11日まで公募しました。その結果、応募条件に適した校名候補として39人の方から、25案の応募がありました。

(内、1案はマンガ等で使われている校名のため候補から除きました。)

[応募された校名候補・五十音順()は複数]

- ・あい風厚田学園(2) ・あい風学園(3)
- ・あいかぜ小中学校 ・あい風小中学校
- ・あいろ一ど学園 ・アイロード学園
- ・厚田あい風学園(3)・厚田あいかぜ学校
- ・厚田あい風小中学校(2)
- ・厚田あったか学園(3)
- ・厚田学園(3) ・厚田カラペツ学校
- ・厚田希望ヶ丘学校 ・厚田義務教育学校
- ・厚田小中学校(3) ・厚田なかよし学園
- ・厚田未来学校 ・厚田夕日の丘学園
- ・海盟学園 ・恒久学園 ・望陽学園
- ・星影みよし学園 ・文和学校 ・ミラクル学園

会議の中で、まず「厚田」を校名に取り入れることを確認しました。

次に、学校の種別に当たる名称について、「学園」「小中学校」「学校」「義務教育学校」の4種類から検討し、現在全国の多くの義務教育学校で使われている「学園」とすることになりました。

続いて、応募のあった校名候補の中に多数含まれていた「あい風」「あいかぜ」を取り入れるか否かが検討課題になりました。「あい風(あいかぜ)」の意味については、事務局から「海から幸せを運ぶさわやかな風として昔から地域で親しまれてきた」として説明しましたが、「主に海岸部や漁業関係者で



道の駅「あいろ一ど厚田」(左上)～旧厚田中学校校舎～新しくできた「厚田小学校プール(右側)」の全景

使われてきた言葉で、内陸部や農業関係者にはあまり親しみがない「新しく耳にするようになった言葉」という意見が多く、厚田全体の学校としては必要がないのではないかという結論になりました。

このような検討を行い、最終的に厚田の人誰もが親しみを持ち、新しい学校制度によって生まれる学校という意味から、校名の候補として「厚田学園」に決まりました。

校名は、教育委員会会議での審議を経て、9月の定例市議会の議決を経て正式に決定します。

厚田中の引越しが終わりました・・・。

(厚田中学校の校舎機能が、厚田小学校内に移転)

統合新設校の建設工事にあたり、夏休み中に行われていた厚田中学校の移転が終了しました。

(中学校の職員室・校長室は、厚田小1階の小学校音楽室・音楽準備室に、中学校の教室は2階に移動しました。)

(仮称) 厚田小中学校設立準備委員会事務局

(石狩市教育委員会 総務企画課内)

電話 72-3169 / FAX 75-2276

E-mail soumu-k@city.ishikari.hokkaido.jp

第10回会議は、今年10月に開催予定です。